

四六判/200頁

定価 本体=2,000円+税

978-4-87502-586-3

「あなたは誰？」

古風な木造建築である日本獣医生命科学大学一号棟。
その2階の窓辺に、1頭のキリンの姿があった。

日本生まれの麒麟児 長次郎の生涯はたったの4年
だが、誰かが記憶に刻み、語り継ぐうちに新たな発見があるなど、長次郎の物語はなぜか尽きない。

〔監修〕日本獣医生命科学大学付属博物館

〔著〕石井奈穂美

郡司芽久

川田伸一郎

清水勲

齋藤美保 ほか

キリンが来た道

麒麟児 長次郎の歩み



日本に初めてキリンがやって来たのは
1907年(明治40)

長次郎が上野動物園で誕生したのは1940年10月。
2年後、現在の井の頭自然文化園に引っ越して、
その後、日獣大で骨格標本になったという。
1952年の卒業アルバムに、その姿がある。

2026年3月23日発売!

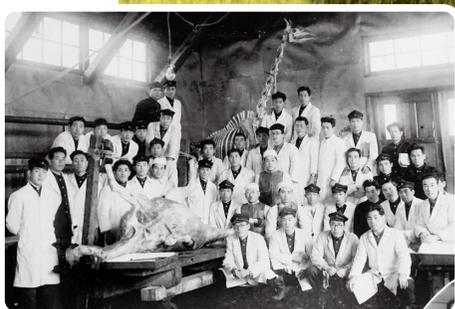
工作舎刊



工作舎



この写真との出会いがすべての始まりだった。
1952年の卒業アルバムより。





キリンが来た道

〔監修〕日本獣医生命科学大学付属博物館

〔著〕石井奈穂美

郡司芽久

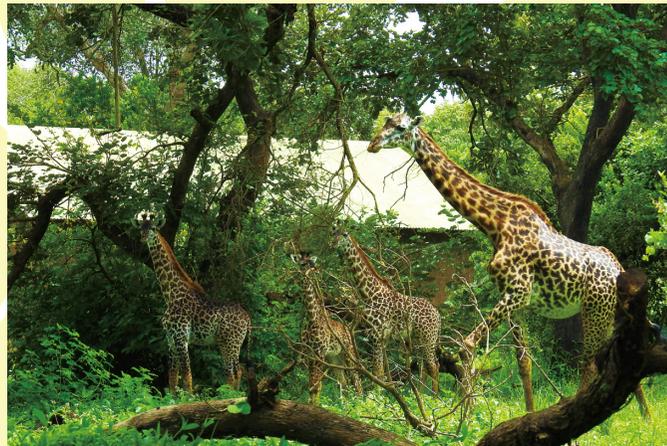
川田伸一郎

清水勲

齋藤美保 ほか



このキリンは何者なのか……



齋藤美保「野生のキリンのくらし」より

麒麟児
長次郎の歩み
キリンが来た道

PART-1

麒麟児は何処から 石井奈穂美

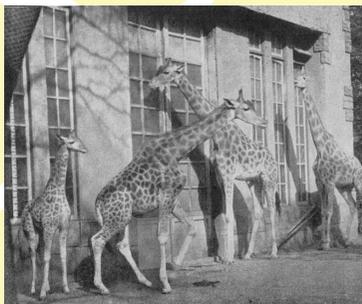
1. 「あなたは誰!？」
2. アフリカから日本へ
3. 日本初の麒麟児誕生
4. 上野から井の頭自然文化園へ
5. 長次郎の遺体は日獣大へ
6. 麒麟児の今後

PART-2

キリン講話

- 化石が示すキリンの進化
- 明治時代のキリンの標本
- 国内キリンの個体群管理について
- 野生キリンのくらし

- 郡司芽久
- 川田伸一郎
- 清水勲
- 齋藤美保



上野動物園のキリン一家、左が長次郎
(1940年10月誕生)



企画展「キリンが来た道」
(2023.11.3～2024.6.21)の準備が進む



清水勲「国内キリンの個体群管理について」より
キリンの仔は集まる習性がある

〔お問合せ〕

〒169-0072

東京都新宿区大久保2-4-12

新宿ラムダックスビル12F

tel.03-5155-8940 fax.03-5155-8941

<https://www.kousakusha.co.jp/>

E-mail:saturn@kousakusha.co.jp

〔好評発売中〕

動物福祉 アニマルウェルフェア

世界の歩みと日本の取組み

植木美希+田中亜紀+町屋 奈 著

四六判 / 200頁 / 2,200円(税込)

ISBN978-4-87502-565-8

